



第1回岡山地方会 活動報告

テーマ：「文書作成業務～他院の取り組みを参考にしてみよう」

開催日時：平成29年5月20日（土）14：00～17：30

会場：一般財団法人操風会 岡山旭東病院 パッチ・アダムスホール

開会の挨拶

NPO 法人医師事務作業補助研究会 岡山県支部 顧問 土井章弘 先生

当研究会岡山県支部顧問である岡山旭東病院の土井章弘院長より開会の挨拶がありました。

医師事務作業補助者への期待は全国的に年々高まっています。代行入力や各種書類の作成等で医師の負担軽減や医療の質の向上に寄与しており、医療の現場になくしてはならない存在であると述べられました。



講演

NPO 法人医師事務作業補助研究会 理事長 矢口智子



矢口智子理事長から「医師事務作業補助者の職種確立に向けて～岡山県支部への期待～」と題して、研究会の活動紹介、キャリアパス、職種確立への取り組み、金沢脳神経外科病院の業務紹介についてご講演いただきました。

日本医師事務作業補助研究会では実務能力の向上・業務環境の改善・領域開拓の全国展開を目的としており、岡山県支部の今後の活動に期待している、と熱いエールが送られました。また、11月に開催される全国大会について案内がありました。

事例報告

- ・岡山旭東病院 坪井 明美 氏
- ・竜操整形外科病院 蟻正 桂子 氏
- ・岡山医療センター 藤森 則子 氏
- ・倉敷中央病院 神谷 志華 氏

上記4医療機関の実務者から事例発表があり、各医療機関での診断書業務の流れから教育まで、幅広い報告が行われました。



ワールドカフェ



県内外からの92名の参加者全員でワールドカフェを実施しました。自己紹介にはじまり、診断書やその他の文書作成における情報交換や意見交換が活発に行われました。他院での取り組みを知り、モチベーションが向上したとの声が多く聞かれました。また、20分ごとに自由に席替えをしたことで、多くの実務者と交流ができました。

閉会の挨拶

NPO 法人医師事務作業補助研究会 岡山県支部 支部長 近藤祐加

岡山旭東病院 医療秘書課 主任の近藤祐加より閉会の挨拶を行いました。

岡山県支部設立についての説明や、今後の活動への思いを伝えるとともに、第2回岡山地方会の案内を行いました。最後に、多くの関係者、参加者への感謝の気持ちを述べ、第1回岡山地方会を締めくくりました。



地方会を通して

平成28年9月に岡山県支部を発足後、初めての開催となることから、関係者のみなさまのご協力をいただきながら準備を重ねてまいりました。

第1回目は、多くの病院が行なっている診断書業務について主眼を置き、テーマを「文書作成業務～他院の取り組みを参考にしてみよう」に決めました。参加申込みが早期に定員に達し、会員36名、非会員50名、世話人7名の計93名の参加がありました。また、地方会の後は、35名で懇親会を開催し、気軽に情報交換し合え、楽しく交流できました。

医師事務作業補助体加算が新設され9年経ちますが、まだまだ医療機関によって業務内容や範囲、レベルに差異があるのが現状です。地域の医師事務作業補助者同士で気軽に情報交換・共有を図り、お互いに切磋琢磨できる仲間がいれば心強いと思います。職種として確立し、将来的に職能団体化を目指すためにも、地方会などの活動を通して地域全体でのスキルアップに努めると共に、医師事務作業補助という仕事に一人一人がやりがいと誇りをもって働いてほしいと思います。

そのため、岡山県支部ではより実りある地方会開催に向けた企画・運営に努め、同じ医師事務作業補助者同士の交流を深める場を提供するとともに、職種の発展に繋がる活動を継続していきたいと思っています。

報告者：一般財団法人操風会 岡山旭東病院 近藤 祐加